

# 2024年度 環境経営レポート



(2024/4~2025/3)

発行日： 2025/5/9

東京ファインケミカル株式会社

## ○ RC基本方針

### 1. 環境・安全・品質に関する基本方針

当社は、労働安全衛生・保安防災・環境保護・品質保証・化学品安全を最優先課題とし、「責任ある配慮(レスポンスブル・ケア)」を以て社会と従業員の安全と健康を守ると共に製品品質の維持、環境保護に努めます。

### 2. 行動指針

- 1)研究から生産、物流、廃棄に至るまでの全生涯にわたり環境・安全・健康に配慮します。
- 2)資源の効率的活用、再利用に努め環境への負荷を低減します。
- 3)無事故・無災害の操業を図り、従業員と地域社会の安全を確保します。
- 4)環境・安全・健康に関わる法律、規則などを遵守します。
- 5)自主監査を実施し、環境・安全・健康の維持向上に努めます。
- 6)顧客が満足し、信頼する製品とサービスを安定かつ経済的に供給します。

## ○ 環境経営方針

東京ファインケミカル株式会社は、関係法規制を遵守し、環境負荷低減のため、廃棄物・CO<sub>2</sub>削減を進めながら、継続的に環境に配慮したモノづくりをします。

### 環境保全への行動方針

- (1)総エネルギー削減を目指し、CO<sub>2</sub>の排出削減に努めます。
- (2)産業廃棄物排出量削減に努めます。
- (3)PRTR法対象物質の排出量削減に努めます。
- (4)化学物質使用量の削減に努めます。
- (5)グリーン購入の推進を行います。
- (6)節水及び総排水量の削減に努めます。
- (7)環境保全への行動を継続的に行ないます。

2024年4月1日

代表取締役社長 永井 俊昭

## 1. 登録事業所の概要

### (1) 事業所名及び代表者氏名

東京ファインケミカル株式会社  
代表取締役社長 永井 俊昭

### (2) 所在地

本 社：東京都港区西新橋2-4-12（西新橋PR-EX）  
大阪支店：大阪市淀川区西中島6-9-27（新大阪メイコービル）  
横須賀工場：神奈川県横須賀市夏島町2873-8

### (3) 環境管理責任者及び事務局

環境管理責任者 RC室長 上 蘭 祐一  
事務局 RC室 野村 欽也  
連絡先 TEL 046-865-6144  
FAX 046-866-2460  
E-mail: kankyo@tokyofine.jp

### (4) 事業内容

各種機能化学品の製造及び販売、アクリル樹脂の製造、  
セメント混和剤試験測定業務

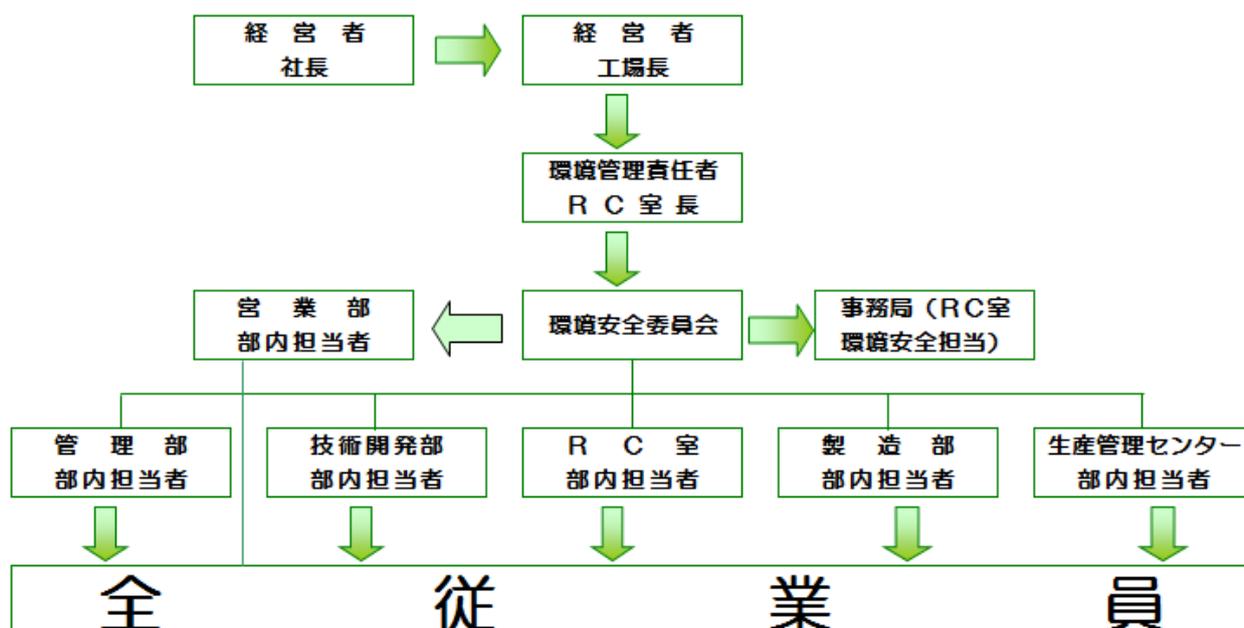
### (5) 事業規模及び認証登録範囲

主要製品販売量 3,868 トン/年

|       |   |         |     |                     |
|-------|---|---------|-----|---------------------|
| 本 社   | : | 従業員 8名  | 床面積 | 139m <sup>2</sup>   |
| 大阪支店  | : | 従業員 1名  | 床面積 | 116m <sup>2</sup>   |
| 横須賀工場 | : | 従業員 53名 | 床面積 | 9,358m <sup>2</sup> |

\* 2025年4月1日現在

## 2. 環境経営実施体制



### ■ 責任と権限

|                 |  |
|-----------------|--|
| 社 長             | 環境経営に関する統括責任を工場長に委任<br>環境方針の策定・見直し<br>全体評価と見直し実施見直し  |
| 工 場 長           | 環境経営に関する統括責任<br>環境経営システムの実施および管理に必要な人、設備等資源の確保<br>環境管理責任者を任命<br>環境方針の全体周知                            |
| 環境管理責任者         | 環境経営システムの構築、実施、管理<br>環境目標の承認<br>全体環境活動実施計画の立案<br>各部門環境活動実施計画の承認<br>環境活動の結果を社長、工場長に報告                 |
| 環境安全委員会         | 環境・安全・防災管理の推進に関する計画の立案<br>環境安全関連に関する審議<br>環境安全関連に関する教育、啓蒙  |
| RC室<br>環境安全担当   | 環境経営システムを管理する環境安全委員会事務局の運営<br>環境関連の外部コミュニケーション窓口業務を行う  |
| 部署長および<br>部内担当者 | 自部門における環境経営システムの実施<br>自部門の従業員に対する教育・訓練の実施<br>自部門に関する環境目標および活動計画の作成、実施および達成状況の報告<br>自部門の問題点の是正および予防対策 |
| 全 社 員           | 環境方針を理解し、自主・積極的に参加する   |

### 3. 環境目標及びその実績

| 項目                           | 単位                 | 2022年             | 2023年             | 2024年                     |                   | 2025年                           | 2026年                           | 2027年                           |
|------------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
|                              |                    | (22/4~23/3)<br>実績 | (23/4~24/3)<br>実績 | 2019~21実績値<br>毎年1%減<br>目標 | (24/4~25/3)<br>実績 | (25/4~26/3)<br>対前年<br>1%減<br>目標 | (26/4~27/3)<br>対前年<br>1%減<br>目標 | (27/4~28/3)<br>対前年<br>1%減<br>目標 |
| エネルギーの削減<br>(コンクリート試験室を除く)   |                    |                   |                   | 2019~21実績値<br>毎年1%減       |                   | 対前年<br>1%減                      | 対前年<br>1%減                      | 対前年<br>1%減                      |
| ・電気使用量                       | KWH                | 627,019           | 650,593           | 687,919                   | 706,235           | 699,173                         | 692,181                         | 685,259                         |
| ・都市ガス使用量                     | m <sup>3</sup>     | 54,766            | 49,880            | 57,736                    | 56,363            | 55,799                          | 55,241                          | 54,689                          |
| ・総エネルギー投入量                   | MJ                 | 9,343,174         | 9,440,960         | 10,157,797                | 10,457,413        | 10,352,839                      | 10,249,310                      | 10,146,817                      |
| ・温室効果ガス排出量                   | kg-CO <sub>2</sub> | 464,899           | 469,929           | 505,378                   | 522,815           | 517,587                         | 512,411                         | 507,287                         |
| ・温室効果ガス排出量<br>(コンクリート試験室を含む) | kg-CO <sub>2</sub> | 584,036           | 594,784           |                           | 652,481           |                                 |                                 |                                 |
| 産業廃棄物の削減                     |                    |                   |                   | 2019~21実績値<br>毎年1%減       |                   | 対前年目標値<br>1%減                   | 対前年目標値<br>1%減                   | 対前年目標値<br>1%減                   |
| ・総排出量の削減                     | t                  | 107.8             | 101.7             | 119.7                     | 114.0             | 112.9                           | 111.7                           | 110.6                           |
| ・最終埋立処分量の削減                  | t                  | 10.3              | 6.8               | 11.0                      | 2.4               | 6.5                             | 6.5                             | 6.5                             |
| P R T R法対象物質<br>の排出量削減       | kg                 | 674               | 309               | 400以下                     | 220               | 400以下                           | 400以下                           | 400以下                           |
| グリーン購入適合品の<br>購入推進           |                    | 100%              | 100%              | 100%                      | 100%              | 100%                            | 100%                            | 100%                            |
| 総排水量の削減                      |                    |                   |                   | 対前年1%減                    |                   | 対前年1%減                          | 対前年1%減                          | 対前年1%減                          |
| ・上水使用量の削減                    | m <sup>3</sup>     | 6,096             | 5,959             | 5,899                     | 6,081             | 6,020                           | 5,960                           | 5,900                           |
| ・排水量の削減                      | m <sup>3</sup>     | 4,449             | 4,298             | 4,255                     | 4,427             | 4,383                           | 4,339                           | 4,296                           |

※ 電力換算係数 9.83(MJ/kWh)、 0.457 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

都市ガス換算係数41.1(MJ/Nm<sup>3</sup>)、 2.11 (kg-CO<sub>2</sub>/Nm<sup>3</sup>)

※ エネルギーの削減目標については、コロナ禍の影響による生産減により、2022年度からの目標を2019~21年度の実績値の平均を基準に3年間毎年1%減を目標としたが、2025年度より対前年目標値の1%減を目標とする。

※ 最終埋立処分量の削減目標については、2024年度、廃粉体の外部排出を行ってないため2022~2024年度の実績値の平均以下を維持する。

#### 4. 環境経営活動の行動計画と評価

2024年度（2024年4月～2025年3月まで）の目標とその実績を集計し、評価を行った。

| 行動計画   | 達成状況   | 評価（結果と今後の方向）   |
|--|--|--|
| <b>エネルギーの削減</b><br>・稼働時間の短縮<br>（攪拌機、ポンプ、冷却ファン等）<br>・空調機器の温度設定遵守<br>・照明の不在時消灯<br>・ボイラー稼働台数の制限<br>・蒸気不使用時の早期運転停止<br>・蒸気漏れ（パッキン・トラップ修理） | <b>電気使用量の削減</b><br>（コンクリート試験室除く）<br>目標： 687,919 KWH<br>実績： 706,235 KWH<br>率： 102.7%（実績/目標）<br><br><b>総エネルギー投入量の削減</b><br>（コンクリート試験室除く）<br>目標： 10,157,797 MJ<br>実績： 10,457,413 MJ<br>率： 102.9%（実績/目標）<br><br><b>温室効果ガス排出量の削減</b><br>（コンクリート試験室除く）<br>目標： 505,378 kg<br>実績： 522,815 kg<br>率： 103.5%（実績/目標） | <b>目標達成</b><br>・前年度と比較して、電気使用量、ガス使用量、トータルエネルギー投入量すべて増加する結果となった。電気使用量の多いハイオ製品、蒸気使用量の多いAEDの生産増が原因と考えられる。<br><br><b>今後</b><br>・対前年度目標値の1%減を目標とし、エネルギー投入量、CO2排出量の削減を目標とする。<br><br>・行動計画は次年度も引き続き取り組みを強化する。 |
| <b>産業廃棄物の削減</b><br>・工場内廃棄物の分別強化<br>・作業工程（洗浄作業等）の見直し<br>・工事業者廃棄物持ち帰り指導<br>・排出物処理業者の選定及びリサイクル化   | <b>総排出量の削減</b><br>（コンクリート試験室除く）<br>目標： 119.7 トン以下<br>実績： 114.0 トン<br>率： 95.3%（実績/目標）<br><br><b>最終埋立処分量の削減</b><br>目標： 11.0 トン以下<br>実績： 2.4 トン<br>率： 21.9%（実績/目標）  | <b>目標達成</b><br>・廃棄物の排出量は前年度を上回った。埋立処分量の減少については、廃粉体の外部排出を行わなかった事による。<br><br><b>今後</b><br>・目標値は、2022～2024年度の実績値の平均以下とする。<br>・行動計画は次年度も引き続き取組を強化する。   |
| <b>PRTR法対象物質の排出量削減</b><br>・対象製品の代替化<br>・法規対象物質の排出移動量の管理  | 目標： 400 ㌦以下<br><br>実績： 220 ㌦<br><br>率： 55.0%（実績/目標）  | <b>目標達成</b><br>・漁網用防汚剤の生産減でキシレンの使用量が大幅に減少したことにより、大気排出が減少した。<br><br><b>今後</b><br>・PRTR法対象物質の排出量(400kg)の維持を継続する。   |
| <b>グリーン調達</b><br>・リサイクル事務用品の購入<br>・コピー用紙再生紙使用<br>・再生ドラムの購入量の把握   | 目標：リサイクル事務用品の購入100%<br><br>実績：コピー用紙、事務用品リサイクル品100%購入   | <b>目標達成</b><br>・リサイクル事務用品の購入100%を達成した。今後も継続する。   |
| <b>上水使用量の削減</b><br>・タンク洗浄水・方法の見直し<br>・指針チェックによる、漏水早期発見<br>・工程排水のロス・ムダ検討<br>・生活排水節水の呼びかけ  | 目標： 5,899 m3<br>（前年比△1%）<br><br>実績： 6,081 m3<br><br>率： 103.1%（実績/目標）   | <b>目標達成</b><br>・前年度と比較し、上水使用量は増加した。漏洩のトラブルが発生したことが原因と考える。<br><br><b>今後</b><br>・前年度1%減を目標とする。<br>・行動計画は次年度も引き続き取り組みを強化する。   |

#### 5. 社長による全体の評価と見直し

|   |
|---|
| <p>環境関係の数値は、生産量が増加すれば増加するのは仕方ない面もあるが、目標設定は販売計画を考慮し、現実との乖離がないものにしたほうが良い。</p> |
| <p>RC基本方針は恒久的なものであり、このまま維持継続する事とする。</p>                                     |

## 6. 環境関連法規制の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 法規制名                      | 要求事項等  |
|---------------------------|--|
| 公害防止組織整備法                 | 特定工場（水質関係）の組織整備<br>公害防止統括者、公害防止管理者の届出                    |
| 水質汚濁防止法<br>下水道法           | 特定施設の設置届<br>有害物質貯蔵指定施設届出<br>下水の水質の測定<br>除害施設管理報告（四半期毎）   |
| 大気汚染防止法                   | ボイラー排気ガス測定（自主測定）   |
| 廃棄物処理法                    | 産業廃棄物管理表による管理<br>特別管理産業廃棄物管理責任者の設置<br>廃棄物収集・処理委託業者との契約締結 |
| 消防法                       | 危険物施設の設置、点検記録の届出<br>危険物保安監督者、取扱者の届出<br>防火管理者、予防規程の届出     |
| 毒劇物取締法                    | 毒劇物取扱上の処置<br>表示の義務                                       |
| 労働安全衛生法                   | 作業環境測定<br>安全管理者、衛生管理者届出                                  |
| P R T R法                  | 対象物質排出量の届出   |
| 高圧ガス保安法                   | 保安監督者の選任   |
| 神奈川県条例<br>生活環境の保全に関する条例   | 指定事業所に係る変更届<br>化学物質の自主的な管理状況の報告（3年毎）                     |
| フロン排出抑制法<br>(2015年4月1日施行) | 簡易点検・定期点検の実施   |

上記の環境関連規制等の遵守状況を定期評価した結果、環境法規制等の逸脱はありません。  
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。